



三種町

議会だより

平成28年
5月1日 発行

第41号

「春爛漫、金仏梅公園」

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

もくじ

当初予算の概要	2～3
委員会審議	4～6
補正予算の内容、議案一覧	7
議案審議、議案一覧 議案採決結果	8～9
一般質問（5人が登壇）	10～14
臨時会、請願・陳情	15
三種の星、編集後記	16

3月 定例会

生活密着型予算

対前年度比 1.6%の減

3月議会定例会は、3月1日から11日までの11日の会期で開催されました。予算審議では、3常任委員会の審査を経て、一般会計と全ての特別会計及び水道事業会計が原案どおり可決されました。

28年度予算の特徴

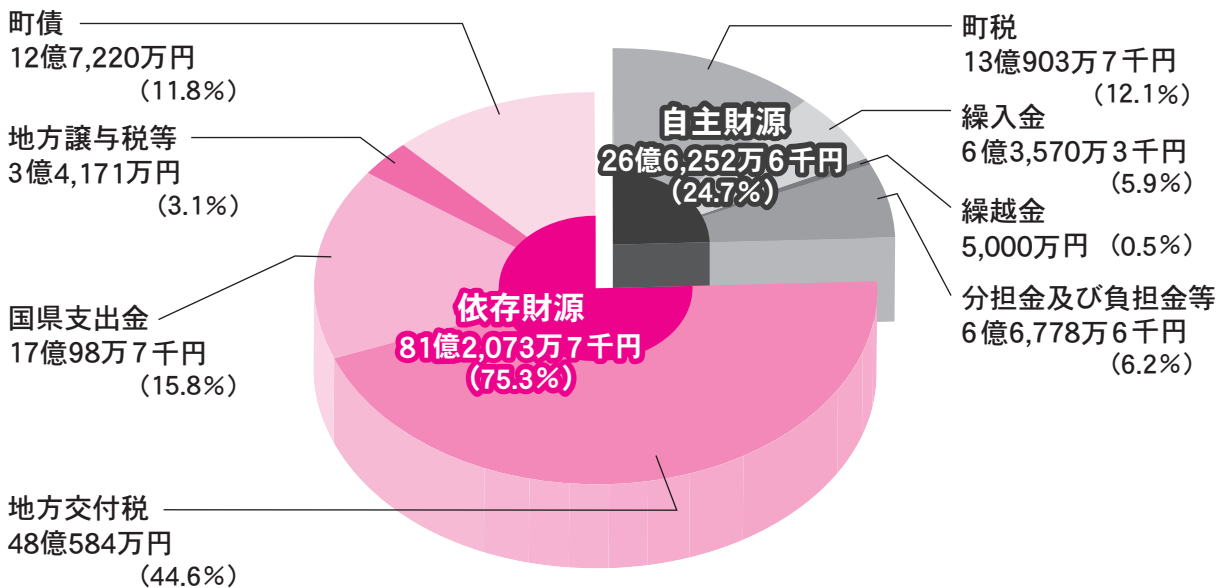
平成28年度一般会計予算の重点施策は、住民の生活環境施設の整備、雇用対策推進事業の充実強化、地域の特性を活かした産業の振興、暮らしの安心確保の4項目としている。

また、複合経営に取り組み農家を支援する事業を新たに設けたほか、医療費の無料化を高校生まで拡大するなど、町民生活に密着した事業に重点を置いた施策となっており、人口減少を見据えた編成とも言える内容となっている。

さらに、今年度は合併10年を迎え、記念式典や各種の記念行事が行われることになっており、そのための経費が盛り込まれている。

なお、平成28年度の当初予算総額は、前年度の当初予算総額と比較し、マイナス1.6パーセント、金額にして1億7千600万円の減となっている。

歳入



合計 107億8,326万3千円

●特別会計

会計名	金額
国民健康保険事業	27億4,606万8千円
後期高齢者医療	1億7,662万2千円
公共下水道事業	6億4,336万 円
農業集落排水事業	1億6,972万9千円
介護保険事業	27億3,487万9千円
介護サービス事業	1,035万3千円
衛生処理事業	2,045万8千円
温泉事業	4,535万2千円
国民健康保険診療施設	1千円
合計	65億4,682万2千円

●水道事業会計

区分	金額
収益的収入	4億2,665万6千円
収益的支出	3億2,452万1千円
資本的収入	9,170万1千円
資本的支出	1億8,859万 円

今年度から特別会計の簡易水道事業を水道事業会計に統合する。

28年度予算 住民

一般会計 **107億8,300万**

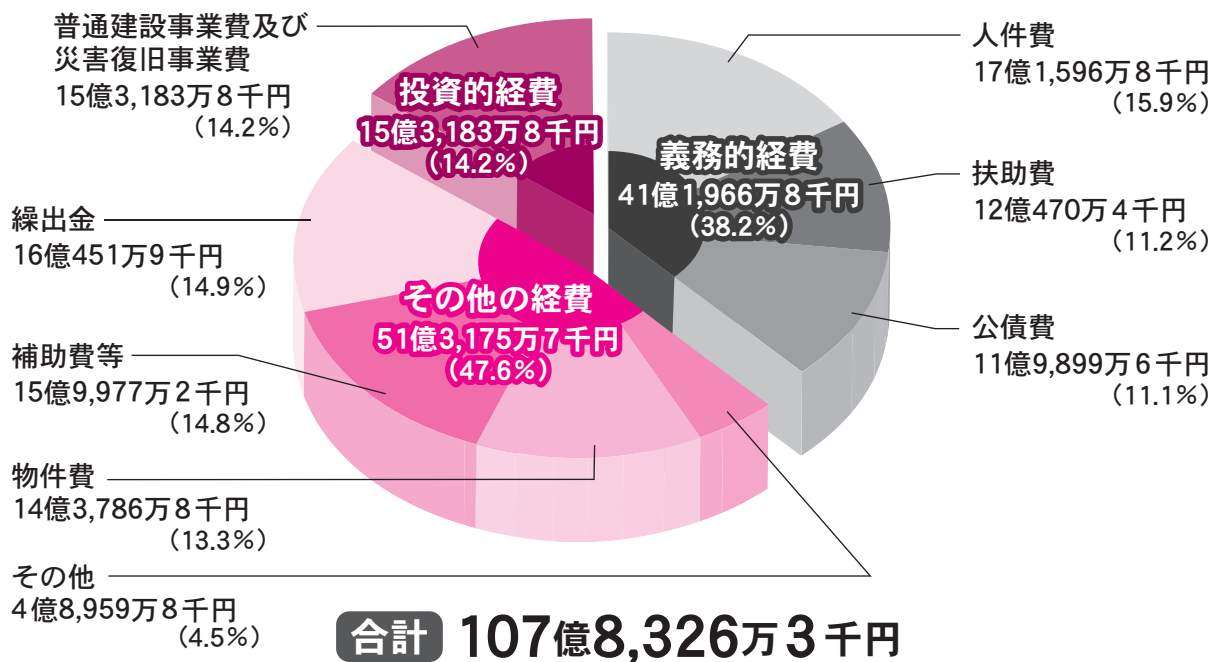
◇◇◇ 10周年記念行事予定 ◇◇◇

- ◆ 5月22日 NHK公開収録「民謡をたずねて」
- ◆ 5月25日 チャレンジデー 2016 (対戦相手 北広島町)
- ◆ 7月3日 第3回世界じゅんさい摘み取り選手権大会
- ◆ 7月30日～31日 サンドクラフト 2016 inみたね
- ◆ 8月28日 森岳温泉夏まつり
- ◆ 10月15日 記念式典、記念講演会
- ◆ 10月22日～23日 第11回三種町町民祭
- ◆ 11月23日 陸上自衛隊音楽隊 コンサート in みたね



三種町誕生から10周年
ここにある笑顔と夢を未来へ...

歳出



委員会審議

総務 常任委員会

平成28年度新年度予算の11議案と繰り入れ議案3件は、各常任委員会に付託され、所管する予算内容を審議しました。その結果、総務常任委員会は「原案のとおり承認すべき」、教育民生常任委員会と産業建設常任委員会は「意見を付して原案のとおり承認すべき」とし、本会議に報告しました。

問 空中撮影機とはドローンと想像されるが、使用目的は何か。

答 また、危険が伴うものであると想像が保険は大丈夫か。

問 空からの多角的映像を広報、ホームページ、フェイスブックなどに活用していきたい。安全には万全を尽くす。

問 職員の退職や再任用の状況と今後の採用方針は。

答 平成27年度末で定年10人、若年2人、再任用1人が退職する。

問 また、平成28年度で11人、平成29年度では18人がそれぞれ定年を迎え、再任用を除き、3年間で41人が退職する。

答 ここ数年は採用者数が増加傾向にあるが、今後は再任用の希望者数を勘案しながら調整していくことになっている。

問 NHK公開放送の内容は。

答 ラジオ放送「民謡をたずねて」の公開収録で、3週にわたって全国放送される。職員を中心に実行委員会を組織して対応する予定である。

問 観覧希望者多数の場合抽選による。

問 クアオルト事業の概要は。

答 平成28年度中に町内の5コースのうち3コースが認定される予定である。今後は、ウォーキングだけでなくヨガなどを取り入れたセツトメニューも設ける予定である。またトレーニング器具を揃え、町民の健康に対する意識付けを図っていきたい。

問 結婚支援員とあるが活動内容と報酬の内容は。

答 活動内容は各地区で仲人のような活動をしてもらう事を想定している。報酬については全体会、研修会への出席などの活動費として支給したいと考えている。

問 固定資産税の収入予算が前年度と比較し増額となった要因は何か。

答 家屋の新築及び増築が増加したことによるものである。

問 たばこ税の収入予算が前年度と比較し減額した要因は何か。交付割合が変更になったからか。

答 たばこ嗜好者の減少が一番の要因である。交付割合に変更はない。

問 町民歌CD作成業務の詳細は。

答 現在のCDは合唱でつくられているため、歌詞が聞きづらいので、独唱で歌詞がはつきり聞き取れるものにした。

問 地方交付税の詳細は。

答 平成27年度の普通交付税の交付決定額は51億5千562万円であり、合併特例で通常より8億5千500円が多く交付されているが、この分については今後5年間で段階的に減額される見込みである。本年度は国勢調査の人口減少分等を加味すれば、7パーセント以上の減少となると見込んでいる。

問 町誕生10周年記念事業の内容は。

答 10月15日に記念式典、記念講演を計画している。

問 また、10年の節目に合わせて、町PRのため、式典用、ホームページ用、YouTube用など用途に合わせて記念映像の制作も計画している。



総務常任委員会

教育 民生 常任委員会

問 今年8月から始まる高校生までの医療費無料化分として450万円が予算計上されているが、この金額の根拠は。

答 平成28年度拡充分については、本町の中学生1人当たり年間医療費助成実績2万3千600円を参考に、1人2万5千円、人数360人として年間900万円と見積り、8月～1月分医療費450万円を計上した。

問 不妊治療への補助金150万円が計上されているが、少子化と言われるなか「赤ちゃん誕生」は大事なことであり、町としても力を入れるべきである。この補助を受けている人は何組いるのか。少ないならば、もっと使いやすい事業にすべきである。

答 平成26年度は特定不妊治療5人、一般不妊治療6人、実人数では9人であるが、専門医への相談が多くなれば事業効果も高まると思う。

問 防犯カメラ設置工事費129万7千円が計上されているが、どこに設置するのか。また、被害があったことでの設置なのか。

答 4カ所を予定している。琴丘地域は鹿渡駅と道の駅、山本地区は森岳駅を予定しており、残り1カ所は八竜地域を予定している。設置の理由については、被害があったからではなく、あくまでも犯罪抑止のためである。

問 防災行政無線整備事業は、どのように進めていくのか。

答 防災行政無線を整備するに当たっては、施設を統合し、デジタル化を図るため平成28年度と平成29年度の2カ年で放送局や中継局、屋外子局を整備していく。事業費はそれぞれ3億600万円と3億5千300万円を予定している。なお、各家庭に設置されている戸別受信機については、平成30年度から順次更新していく計画である。

問 都会で問題になっている待機児童は、三種町にはいるのか。

答 保育士の数が限られている関係でどうしても途中入園をお断りせざるを得ない状況にあるので、少数の児童が待機となっている。

問 スカルパ野球場改修の内容を説明してほしい。

答 実施設計も合わせて4億3千万円の事業費である。財源の主なものとしてスポーツ振興くじ1億3千万円を見込んでいる。

スカルパ球場のカウント表示は「S・B・O」であるが、現在の野球のカウント表示は「B・S・O」となっているので、その部分を改修する。また、電光掲示板のLED化、スコアボード、グラウンド、フェンス、ベンチ、トイレや雨漏り部分の補修である。

工期は、お盆過ぎから着工し、年度内の完成を目指している。4月中旬に芝の養生を行い、5月連休から使用できればと思っている。



教育民生常任委員会

意見

昨年11月に教育民生常任委員会で学校施設の調査をした際、次の箇所に補修が必要と委員会報告をしたが、平成28年度当初予算に関係する予算が計上されていない。新年度において予算措置し補修すべきである。

1. 老朽化による琴丘小学校の野球場バックネット
2. 水はけが悪い琴丘小学校のグラウンド
3. 舗装がはがれた穴が数カ所ある下岩川小学校玄関前の補修

問 山本地区の公民館建設は、今後どうなるのか。

答 検討委員会の答申を受けてから検討し平成28年度中に青写真を作らなければならないと思っている。平成28年度中に基本設計をし、平成29年度には具体的などころへ進んでいけると思っている。

産業建設 常任委員会

問 釜谷の農業集落排水を流域下水道に接続するのは、何年度までの事業で、事業費はいくらかかるか。

答 平成28年度で設計を行い、平成29年度で工事を終わる予定で計画を進めている。事業費は、約2億円、地方債と国庫補助金で対応する。

問 温泉事業特別会計で施設改良設計業務委託料として予算を計上しているが、事業費はどれくらいか。

答 5億円である。計画では設計は平成28年度で、工事は平成29年度から4年としている。

問 農業委員会法の改正により、農業委員は新年度から町長が任命することになるのか。

答 町長が任命するのは、平成30年7月20日以降の農業委員の改選からであり、公募のうえ議会の承認を経て任命するということになる。

問 中山スキー場に広葉樹を植える計画の内容は。

答 計画面積は1.7ヘクタールで、さくらなどの広葉樹を植栽する。

県の水と緑の森づくり税事業の補助金で行う。

問 ジャパンブランド育成支援事業は、どんな事業なのか。

答 じゅんさい加工組合は、県の認証制度によって、じゅんさいが希少価値のある野菜であり秋田の逸品として認証されることを目指している。町ではその認証取得後は、県の補助金を受け加工組合を支援する計画である。

問 町営住宅の坪単価が高いと思うが。

答 設計単価は町や県の公営住宅整備基準に基づき進めているが、公営住宅として長期耐用化、災害時への対応など一般住宅以上の整備基準となることから、建築単価は一般住宅と比べ高くなる。

問 指定管理料の予算がゆめろんでは増えて、ゆうばるでは減った理由は何か。

答 ゆめろんについては、昨年比300万円の増で予算計上している。温泉療養施設、プールの部分など、改修によって管理するところが増えるので、それらを考慮して増額計上している。

ゆうばるについては、宿泊棟ができて入館者も順調に伸びており、今年度は黒字を計上する見込みなので、昨

年よりも20万円減で計上している。
問 ゆめろんの入館料はどうなるのか。

答 さざなみ苑から入る場合、65歳以上の方は現在150円だが、これに入湯税分150円を加算し、300円で利用できる。ただし、さざなみ苑の営業時間は平日9時から午後4時までであり、その時間内の利用となる。

問 台湾交流事業では、2回訪問した後、最終的に覚書を交わそうとしている。見通しはどのようなのか。

答 2月に台湾に行ってきた時は、台湾の砂の彫刻の芸術協会と町と協定を結んできた。その立ち会いに南投県政府の文化局、観光局、国



産業建設常任委員会

意見
ゆめろん改修に伴う指定管理料の増額及びゆうばる経営状況改善に伴う指定管理料の減額について、その根拠は曖昧である。
よって、明確な指定管理料の基準を設けるべきである。

の機関も立会人ということでも署名してもらった。そのほかに7月のサンドクラフトには南投県の知事(県長)一行が来町する。できれば今年度中に覚書協定を結べればと思っ

1人当たり3万円の 年金生活者等支援金

平成28年3月定例会
補正予算の内容

会計名	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額	
●一般会計	115億1,982万1千円	△1億4,529万3千円	113億7,452万8千円	
【主な歳出】				
事業内容	事業費	財源		
		国	県	町
自治体情報システム機能向上事業費	2,028万7千円	645万円		1,383万7千円
町税還付金（固定資産税の軽減特例措置の適用誤りによる還付金）	917万8千円			917万8千円
年金生活者等支援臨時給付費（給付額3万円、支給対象見込み3,256人分）	1億181万8千円	1億181万8千円		

※その他事業費の確定による不用見込額2億7,657万6千円が減額補正されている。

●特別会計

会計名	補正前の予算総額	補正額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	28億 703万円	430万5千円	28億1,133万5千円
簡易水道事業特別会計	2億5,605万1千円	134万4千円	2億5,739万5千円
公共下水道事業特別会計	6億3,766万8千円	△428万6千円	6億3,338万2千円
農業集落排水事業特別会計	1億6,827万5千円	△324万1千円	1億6,503万4千円
介護保険事業勘定特別会計	28億 699万9千円	△5,410万4千円	27億5,289万5千円

条例の制定・改正							平成28年度予算													区分	審議された議案一覧
職員の厚生制度に関する条例の一部改正	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	課設置条例の一部改正	公告式条例の一部改正	簡易水道事業を水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	行政不服審査関係手数料条例の制定	水道事業会計予算	国民健康保険診療施設勘定特別会計予算	温泉事業特別会計予算	衛生処理事業特別会計予算	介護サービス事業勘定特別会計予算	介護保険事業勘定特別会計予算	農業集落排水事業特別会計予算	公共下水道事業特別会計予算	後期高齢者医療特別会計予算	国民健康保険事業勘定特別会計予算	一般会計予算	温泉事業特別会計への繰入	農業集落排水事業特別会計への繰入	公共下水道事業特別会計への繰入	議案名	
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	15	15	17	17	17	賛成	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	賛成	
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

次ページへつづく

議案審議

簡易水道事業を水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

問

これまで金岡地区の水道事業については、加入希望者が少ないことや非常に経費がかかるということで困難な状況が続いている。今回事業を一本化することで、金岡地区の羽立は八竜地区飯塚から、水道を引くことが出来る可能性はないのか。

答

金岡地区に水道を引く際は井戸を掘って対応することで、事業認可を受けていたが、アンケート調査で加入希望者が少なく、事業化ができないでいる。

なお、羽立からの要望で、八竜地区から水道を引くことに関して調査したところ水圧の関係などから断念している。

公告式条例の一部改正

問

掲示場を9カ所から3カ所に削減することは、法律上の問題はないのか。情報公開という観点から見れば、減らし過ぎと考えるが。

また、高齢者への対応を、どう考えているのか。

答

削減することについては法律上の問題はない。インターネットを活用しながらより多くの方に見てもらえるようにしていく。

また、公告等は現在9カ所に掲示



役割を終えた浜田掲示場

されているが、ほとんど見られていない状況である。高齢者に対する対応は今後検討したい。

一般会計予算の補正(町税還付金)

問

町では、町の課税ミスにより固定資産税が長期間に亘って過大に徴収されていたものがあつたため、これを過去に遡って納税者に返すことになった。

この中には、20年以上も前から徴収してきたものがあるが、町では、国家賠償法に基づく判例があるとして、これを20年で打ち切るとしている。

しかし、町の返還金支給要綱の規定では、過去の納付状況が確認できる場合は、20年を超えているものでも返還できることになっている。それに、今回の場合、法的に言っても町の要綱は判例には縛られない。したがって、20年を超える分についても返還すべきだ。

答

町の要綱が国家賠償法に基づく判例に縛られないというのは指

平成27年度予算																		区分			
条例の制定・改正																		議案名		審議された議案一覧	
国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	賛成	採決	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況		
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果			

摘のとおりである。

20年を超える部分のことについては、今回の課税ミス問題を調査したところ、たまたま20年までの資料しか持ち合わせていなかったため、20年までの分を返還することにした。

問

20年で打ち切る根拠を国家賠償法に基づく判例に従ったからと言っておきながら、その根拠が崩れたら、今度は、たまたま資料が20年のものしかなかった、という答弁に変わった。

納得がいかないので、今後再度問題にしたい。

三種町課設置条例の一部改正

問

各支所の職員が減少することは、サービス低下とならないか。将来的には、本庁に集約するという考えなのか。

また、休日の届出を本庁に一本化するということだが、ますます役場が距離的なことだけでなく、心情的にどうしても遠くなるように感じる。どのように考えているのか。

答

集約する目的は建設関係、上下水道関係、消防団関係の事務を統合するためのものである。仕事がスムーズにいき、意志決定も早くでき、実益が高いと判断し集約するもので、サービス低下とならないように対応を徹底する。

総務省の考え方も合併した町村においては、従来の支所等の組織を残す方向にあり、当町も減らす考えはない。

また、休日の届出に関しては、町民に迷惑をかけることになるが、さらに親切な対応を心がけていく。



山本総合支所内に移転した上下水道課

議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 棄…棄権 除…除斥 ー…議場に不在

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	結果
議案名	大澤和雄	宮田幹保	安藤賢藏	三浦敦	清水欣也	工藤秀明	高橋満	石井秀基	鈴木一幸	小澤高道	成田光一	加藤彦次郎	後藤栄美子	堺谷直樹	伊藤千作	平賀真	児玉信長	
平成28年度一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度国民健康保険事業勘定特別会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定管理者の指定(志戸橋野地区活動拠点センター)	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業委員会委員の選任につき議会が推薦する者	除	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。 ※議長は採決に加わりません。
 ※除斥は、自己等に関連する議事に参加できないことです。

※議長は採決に加わりません。

報告	発議	推薦	指定管理者の制定											その他			平成27年度予算								
専決処分等の報告(公用車接触事故に係る損害賠償に関する件)	町長の専決事項の指定の一部改正	農業委員会委員の選任につき議会が推薦する者	指定管理者の指定(琴丘地区集会所)	指定管理者の指定(琴丘コミュニティセンター)	指定管理者の指定(活性化施設)	指定管理者の指定(山口地区農作業準備休養施設)	指定管理者の指定(多目的研修集会所)	指定管理者の指定(多目的)	指定管理者の指定(生活改善センター)	指定管理者の指定(金岡地区農業担い手センター)	指定管理者の指定(沢目地区むらの生活館)	指定管理者の指定(生活改善センター)	指定管理者の指定(琴丘山村高齢者活動促進センター)	指定管理者の指定(児童公園及び児童遊園地)	指定管理者の指定(児童館)	町道路線の変更	町道路線の変更	町道路線の認定	まちづくり計画(新町建設計画)の変更	過疎地域自立促進計画を定めること	介護サービス事業勘定特別会計予算の補正	介護サービス事業勘定特別会計予算の補正	農業集排水事業特別会計予算の補正	公共下水道事業特別会計予算の補正	簡易水道事業特別会計予算の補正
17	17	14	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

一部給付型奨学金制度の創設を

町長 今後、検討する



堺谷 直樹 議員

堺谷 我が町の奨学金制度は無利息の貸与型であるが、卒業後に三種町に居を構え、返済を開始してから一定年数を経過した場合、残りの返済を免除する「一部給付型」の奨学金を創設してはどうか。

教育長 今の町の奨学金制度においては、基金運用によって貸し付けるため、償還金が原資になるということもあり免除は行っていないが、今後、基金運用のあり方も含めて検討する必要があると考える。

堺谷 あるアンケート結果によると、奨学金の返還が結婚に影響しているとする人が31パーセント、仕事や就職先の選択に影響があるとする人が20パーセント以上いる。人口減少、

少子化など、いろいろな問題に発展しかねないと考えられる。卒業後の進路の選択肢に幅を持たせるだけでなく、人口流出を抑止することや少子化対策という観点からも、創設をお願いする。

町長 県の海外研修に随行してフィンランドを視察した際、大学、大学院まで授業料免除という制度があり、うらやましく思った。今後は給付型の奨学金制度が望ましいと思っております、検討していきたい。

通学路の安全確保について

教育長 関係機関と連携しながら解消を図る

堺谷 子どもたちの通学路にはさまざまな危険が潜んでいるが、毎日の習慣による慣れや油断によって、危険だと認知されていない場合がある。最低年一回は産学官民による通学路

を点検して、必要な措置を講ずるべきと考えるがどうか。

教育長 交通安全総点検を平成26年に実施したほか、スクールガード・リーダーの指摘箇所については現地確認をしながら対応している。

堺谷 実際に歩いてみると、大人は無意識に回避できるが、低学年の児童や高齢者にとっては危険な場



山本公民館前の水路

所がある。山本公民館前の水路や森岳バイパスの街灯など、長年言われてきていることであり、これらを整備できないのか。

建設課長 公民館前の水路については、公民館の改修工事に併せて整備を検討していく。

町民生活課長 県道バイパスでもあり、現地を精査したうえで検討したい。

「ゆめろん」を道の駅として整備する考えは

町長 道の駅整備計画の検討が必要



成田 光一 議員

また、この路線は、関係する市町で「国道101号線整備促進期成同盟会」を組織し、地域連携強化や活力ある地域づくりを目指しており、整備の推進に向けた要

町長 当路線は昭和男鹿インターチェンジから八竜インターチェンジを結ぶ広域的観光ルートの創設を目的としており、三種町管内では平成25年度から、町道追泊萱刈沢3号線の一部の区間と振替えて路線が変更されている。整備は道路管理者である県が通常の維持管理を含めて行っており、舗装や側溝の補修等も県で整備している。

成田 平成25年に国道に昇格した現在の101号線について、今後の整備計画はどのようになっているのか。



ゆめろん

町長

「道の駅」構想は、「ゆめろん」を町外に広

成田 地方創生が叫ばれている昨今、地方自治体の取組みが試される時期に来ている。そこで誘客効果を高めるため、またクアオルト事業の拠点施設として、その効果をより高めるためにも「ゆめろん」を「道の駅」として整備してはどうか。

望活動を行い、計画的に実施をしていただいている。くPRができ、誘客効果も高まることにつながる。しかも既存の周辺施設を利用することで、少ない予算で整備することができると、「ゆめろん」や町の観光振興の面からも有意義な提案だと思う。

整備するには何点かの諸要件があるほか、単独型と一体型の2つのパターンがある。

なお、「ゆめろん」の位置が国道から離れていることなど、国道から見えないことなどから安全面や環境面

で、既存のゆめろんなどとのすみ分けが必要になると思う。また、最新の調査では、24時間の交通量はおよそ600台程度である。これらを考慮し、今後さらに道路整備が進んだ場合の道の駅整備計画の検討が必要になると思う。

成田

少ない予算でできる可能性があるなら、整備を検討してはどうか。

町長

提案された計画位置は男鹿半島から白神山地に抜ける非常に良いコースの中にあるので、トイレのある「道の駅」があっても良いはずで、やりがいのあるプロジェクトだと思われる。多少時間が掛かるかもしれないが、最小の費用で最大の効果を上げられるように取組んで行きたいと思う。

この他に

「生ごみ減量化に向けて積極的にEM菌活用に取り組んでどうか」
について質問しました。

雇用創出のための具体的方策は

町長 助成・育成・組織化などを推進することで対応



後藤 栄美子 議員

後藤 地方創生とは、安倍内閣により掲げられた東京一極集中を是正し、

地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることが目的とした一連の政策である。三種町も独自の総合戦略として4つの基本目標を設定した。

その中の一つに「安定した雇用を創出する」という目標があり、その下に5つの具体的な施策があるが、詳細について伺う。

町長 1番「農業所得の向上」については、生産量日本一のじゅんさいの里を守り、所得を上げるため、森岳じゅんさいの里活性化協議会が中心となり、JGAPじゅんさいの拡大や営業、加工品開発等を実施しじゅんさい産業全体の底上げを目指す。また、生産量

拡大を図るため、ほ場整備助成や出荷の助成も行う。

2番「新規就農支援」については、新規に農業経営を開始する方に農業機械・設備購入についての一部助成や新たに複合経営を目指すグループ（3人以上）への支援を考えている。

3番「6次産業化支援」については、農産物の生産だけでなく、加工・販売に挑戦する農家の育成を行う。

4番「地域雇用の創出」については、中小企業経営者への融資制度や企業誘致制度、地域雇用創出推進事業の充実を図っていく。

5番「観光資源活性化支援」については、観光協会の法人化により、専従職員の雇用とボランティア等の組織化を進め、推進体制を一層強化していく。

後藤 2番「新規就農支援」の中で、新たに複合経営を目指す後継者や新規就農者に栽培技術を指導する人に対する支援があるが、その指導者は何人を想定しているのか。



クアオルト ゆめろんサンセットコース

農林課長

J Aの部会とも話し合い、3人から5人程度を想定している。

クアオルト事業の促進策は

町長 健康寿命延伸への意識高める

後藤 クアオルトとは、ドイツ語で療養地のことで、温泉などの自然療法を行うこととされている。私だけでなく町民の中にはクアオルト、イコール、ウォーキングと誤っている

人が多いと思う。クアオルト促進について、もう少し詳しく説明してほしい。

町長 確かにウォーキングとどこが違うのかという認識が多いと思う。ゆめろんの工事が、7月に完成するので本格的に推進してゆく。ゆめろんを総合窓口とし、年間を通して町民一人ひとりが自分にあつた運動や効果的な温泉入浴、安心安全な食材での食事など実践を総合的に継続することを通じて健康寿命の延伸につながるという意識を高めてほしいと考えている。

高校生の政治活動を保障すべき

町長 校外での活動は制約すべきでない



大澤 和雄 議員

大澤 文部科学省は、18歳選挙権実施を前に、

高校生の政治活動について各都道府県教育委員会に通知した。これによれば、校内での選挙運動や政治活動について制限、禁止することが必要であるとした。また、校外での選挙運動や政治活動についても制限、禁止することを含め、適切に指導を行うこととしているが、これは憲法で保障された高校生の政治的活動の自由を保障したものと言えないと考える。政府や文部科学省の見解で制限することをやめ、これを保障するべきではないか。

町長 高校生の政治活動については、校内では管理監督責任は学校長にあり、選挙運動や政治活動について、場合によっては制

約を受けることは致し方ないと思うが、放課後や休日等に校外で行われる生徒の選挙運動や政治的活動については制約を設けるべきではないと考える。
デモや集会への参加の届出制については、憲法との関係で難しいのではと考えている。高校は義務教育ではないという点では大学生と同じであり、高校生だからと差異を設けることは選挙権年齢の引き下げを行った立法趣旨にそぐわないのではと思っている。



「18歳選挙を学ぼう」

TPPによる米の影響額は

町長 試算どおりの結果が出るかは不透明

大澤 2010年のTPPの影響額は、米で983億円となっていたが、2016年1月では米生産減少額がゼロとなっている。

国別枠の輸入量に相当する国産米を政府が備蓄米として買い入れることから、影響は見込み難いというが、買い入れた国産備蓄米を3年後に消費者に提供す

るのでは国産主食米の需給は緩み、価格低下は避けられないのではないかと。県の試算と本町への影響額について、どのように考えているのか。

町長 TPPにおける米に別枠の輸入量に相当する国産米を備蓄米として買い入れる影響を抑えるとしているため、影響額をゼロとしているが、輸入米が拡大することで価格水準は下落するのではないかと不安は常につきまとい、払拭できないかと思っている。国や県の試算どおりの結果が出るかどうかは不透明であると言わざるを得ない。同様に三種町への影響額の試算も難しいものと認識している。

この他に
「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」
について質問しました。

風力発電計画は地元同意を

町長 地元関係者の同意を得るよう強く要請する



伊藤 千作 議員

伊藤 浜田地区に秋田市の業者が町有地に風力発電3基の建設を計画している。

他の業者が町内で稼働しているものに比べて高さが20メートル、羽根は15メートルほど長く、出力では約500キロワットが多くなっている。

八竜漁協では、音響等による漁業への影響を懸念しており、規模や音響など現在稼働しているものと同じレベルか同等以下の機種にしてほしいと言っている。

町としては、地元の同意なしで工事の許可をしないよう、業者へ強力な働きかけを行うべきだ。

町長 新たな風力発電3基の建設計画は、これまででない規模、機種となっており、釜谷自治会、

浜田自治会とは話し合いがされているが、八竜漁業協同組合とは具体的な話し合いがなされていないかった。町としては、これまで同様の立場で、業者、地元住民、関係する諸団体と十分な話し合いをした上での同意をお願いしてきたところ、ようやく具体的な話し合いをしていくことに決まった。

今後は、話し合いの推移を見守りたいと考えているが、地元住民、関係する諸団体の同意が得られないままの町有地の貸し付けは回避したいと考えており、事業者に対しては、同意を得られるよう努力を継続されたい旨、強く要請していきたいと考えている。

就学援助制度の改善を

教育長 最善の対応ができるよう検討する

伊藤 新潟市が低所得者に支給する就学援助で、中学校入学時の新入学生徒

学用品費の支給時期が、これまでの8月から、今年から入学前3月に変更された。入学前には学生服やカバンなど、何かと費用がかかるものである。しかし、新潟市では学用品費は8月支給だったので、これを入学前に繰り上げて支給できるかどうかは就学援助を受けている世帯にとって切実な問題である。

市当局は、新年度予算でなく、今年度予算の中で捻出に努力をし実現にこぎつ



ランドセルを背負って元気に入学

けたようである。当町としても今後検討していったらどうか。

教育長

少しでも早く支給したいところであるが、現状では、4月中旬に新入学児童・生徒の転入・転出の確認や給食費減免申請後の対象者の確認作業などがあり、それらの確認作業後の支給とならざるを得ない状況となっている。

今後、最善の対応ができるように検討を重ねていく。

第1回

臨時会

日時：平成28年2月10日(水)

● 専決処分の承認（町税条例等の一部を改正する条例の一部改正）

原案承認

● 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

原案可決

● 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

原案可決

● 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

原案可決

● 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正

原案可決

第1回臨時会が2月10日に開催され、専決処分1件を承認、10議案を原案のとおり可決決定しました。

● 平成27年度一般会計予算の補正

原案可決

● 平成27年度簡易水道事業特別会計予算の補正

原案可決

● 平成27年度公共下水道事業特別会計予算の補正

原案可決

● 平成27年度農業集落排水事業特別会計予算の補正

原案可決

● 平成27年度衛生処理事業特別会計予算の補正

原案可決

● 平成27年度水道事業会計予算の補正

原案可決

第2回

臨時会

日時：平成28年3月29日(火)

● 平成27年度一般会計予算の補正について

原案可決

第2回臨時会が3月29日に開催され、1議案を原案のとおり可決決定しました。

請願

陳情

審査報告

陳情6件は次のとおり付託委員会で審議され、本会議で3件を採択・2件を趣旨採択・1件を不採択と決定しました。

陳情	件名	陳情者氏名	付託委員会	結果
	学校薬剤師の報酬改善についての陳情書	一般社団法人秋田県薬剤師会 会長 大越 英雄	教育民生常任委員会	不採択
	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子	教育民生常任委員会	採択
	全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 泉谷みどり 秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之	総務常任委員会	採択
	労働時間と解雇の規制強化を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 泉谷みどり 秋田県労働組合総連合 議長 星野 博之	総務常任委員会	採択
	「平和安全保障関連法」の廃止を求める陳情書	秋田・戦争をさせない 1000人委員会 代表 山縣 稔	総務常任委員会	趣旨採択
	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市 小坪 慎也	総務常任委員会	趣旨採択

三種の星

～直売所シリーズ～



じゅんさいの館



三種町産物利用促進組合
会長 池内 桂

平成16年4月11日に開設されたじゅんさいの館も12年目を迎えました。生産者76人で今年度の売り上げ目標を1億8千500万円と決め頑張っています。昨年、町のご協力により完成した加工場をフル稼働させ、女性が持つ柔らかい発想やアイデアを活かしながら彩り豊かなお弁当やお惣菜、おでんなど、お客様に大変好評で、作られたものがほとんど売り切れている状況です。今は6次産業の時代ですから、生産から加工販売まで手掛け、これからは一人暮らしの高齢者への健康的な食事の宅配や、増加する単身生活者への作りたてのお弁当の提供など、社会環境に合わせたサービス分野を強化していかなければならないと考えています。

冬期間の販売品として、今はハウス栽培などによる雪中野菜や干し餅、漬物、果物などが主流ですが、これからはワラビやシドケ、ボンナ、ミズなどの山菜が豊富に並び大変な賑わいを見せてくれます。また、何と言っても、三種町は日本一のじゅんさいの町、直売所として生じゅんさいも並べています。県外発送時は品薄になり生産者に電話での催促にひと苦勞、それでも今年からじゅんさいの若い生産者の方が数名入ってきてくれました。森岳じゅんさいの里活性化協議会では、じゅんさいのPRに大変力を入れてくださり、じゅんさいを使った料理講習会なども開催され、お母さんたちが加工場を利用しながら、じゅんさいをベースにした商品の開発に取り組んでいるようです。

じゅんさいの館では安全で安心して食べられる、おいしい商品が盛りだくさん、ぜひ、足を運んでみてください。

八竜産直センター メロディアン



八竜産直センター メロディアン
センター長
高橋 輝美

平成12年にオープンしてから、今年16年目を迎えました。

メロンづくりが盛んな浜口地区では、3月中旬からハウス内での苗植え付け作業が始まります。

年間を通して野菜、特に葉物を切らさないように、会員は苗を植える時期をずらしたり温度管理に気を使っています。

三種町内では唯一加工所を持たない直売所になりましたが、会員からも必要性を訴える声もあり、初期投資の費用や運営管理については十分に検討しながら、他の直売所と違った特色を出していけたら、と考えています。

店の人気商品の花は年間を通して売り場を華やかにしてくれて、お客様からは安くて長持ちすると遠くからでも足を運んで来てくれます。同じく人気の漬物は、試食をしてから好みの味を選んで、購入できるのも魅力の一つです。

毎月第2木曜にサービスデーを開催したり、摘果メロンや干し大根の季節に漬物の講習会を開催したりと頑張っております。

年1回研修で県内外の直売所の視察をしています。その土地ならではの特産品の野菜の話や店長さんをお話し、積極的に質問したり、現場の声を聞く機会を設けたりしています。視察した直売所の長所を参考に物事を進めていく女性のパワーがすごいです。

メロディアンは新鮮で安全な野菜はもちろんお客様から信頼される「店づくり」を会員一人ひとりがこれからも取り組んで参ります。

編集後記

いよいよ春の到来です。今冬は例年と比べて雪が少なく、過ごしやすいた冬になりましたが、その分これからの季節、水不足にならないか心配です。さて、私達の町は合併して10年になりますが、同時に人口減少社会を迎えることになり、今後の大きな問題とされておりま

す。しかし、人口が減っても、その時代の人が幸せで安定した社会を送ることができれば問題はないのではないかと。人が少なければ少ない地域の幸せがあるはず。だから、特別な対策というよりは、その時そのときに必要な充実した取り組みをすることが最も確かな人口減少対策ではないか、などと思いを巡らせているこの頃です。

清水 欣也 記

人事異動

(平成28年4月1日付け)

係	主	局長補佐	局長
近藤 政人	池内 和	平澤 仁美	腰丸 豊
(町民生活課消防係)	(総務課行政係)		